

行政視察等報告書

令和 4年11月16日

境港市議会
議長 荒井 秀行 様

会派名 きょうどう
代表者 米村 一三



下記のとおり行政視察（調査・研修）を行ったので、その結果を報告します。

記

1 視察等期間	令和4年11月11日（金）
2 視察等先 及び内容	令和4年11月11日（金） 12時30分～12時55分 「住民の負託にこたえ、活力ある地方議会を目指す全国大会」 13時15分～15時30分 「地方議会活性化シンポジウム2022」 会場 飯野ビルディング4F イイノホール 住所 東京都千代田区内幸町2-1-1
3 視察等議員	柗 康弘
4 総経費	合計（1名） 43,980円 （一人当たり 43,980円） ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て
5 所見等	別紙のとおり

内 容： 「住民の負託にこたえ、活力ある地方議会を目指す全国大会」

報告者： 柗 康弘

所見等：

活力ある地方議会を創り、地方公共団体が直面する様々な課題の解決に向け、その役割を一層果たしていくため、必要な地方自治法改正等を早急に実現するため、別紙に掲げる7項目の事項について国等へ要望する大会決議を全会一致で採択した。

内 容： 「地方議会活性化シンポジウム2022」

報告者： 柗 康弘

所見等：

◆基調講演◆

「多様な人材が参画する地方議会の実現に向けて」

講師 西南学院大学法学部教授 勢一 智子 氏

- ・人口減少社会に移行する中で地域の諸課題と対峙するには、多様な民意を反映する地方議会が一層重要である。
- ・議員のなり手不足問題では、投票率の低下、無投票当選の増加が影響している。
- ・過少代表の問題では、女性・ジェンダー、若者世代、子育て世代等から立候補しやすい環境整備が必要。

などの講演があり、まとめとして

- ・人口減少社会で重要なことは、地域の将来像をどう描くか、それに向けて限られた地域資源の投資先の厳選を地方議会で検討すべき。
- ・選択基準を、地域の持続可能性（Sustainability）こころ豊かな暮らし（Well-Being）とし、若者世代・将来世代を含む多様な主体参画が必須であり、多様性に富む地方議会での議論が求められる。
- ・議員の多様化は立候補環境の整備、議員へのモチベーション醸成が必要。
- ・議会での多様性の確保・反映は多様性を前提とした議会運営、議会と住民のコミュニケーション充実。
- ・より多くの人々が議員になるために、社会経験を活かせる議会へ、議員経験を活かせる社会へ、社会全体の変革を望むと締めくくられた。

◆パネルディスカッション◆

「地方議会をより開かれたものへ～多様な人材の参画に向けた取組～」

【コーディネーター】

西南学院大学法学部教授

勢一 智子 氏

【パネリスト】

福岡県議会議員

吉村 悠 氏

千葉県船橋市議会議長

渡辺 賢次 氏

山形県遊佐町教育委員会教育課

齋藤 浩一 氏

風間 雅文 氏

一般社団法人 WOMAN SHIFT 代表理事

本目 さよ 氏

吉村氏から、「福岡県における議会関係ハラスメントを根絶するための条例」

渡辺氏から、「デジタル技術を活用した住民参画推進の取り組みについて」

齋藤・風間両氏から、「少年議会」

本目氏から、「若手女性議員のネットワーク&ママの議員インターン」

それぞれのテーマで事例発表があり、どれも興味深く境港市議会においても大変参考になる事例であった。